

三仏堂（重要文化財）

三仏堂は、輪王寺の本堂である。もともとは、天台宗の総本山である京都の延暦寺をモデルにした日光山全体の本堂であった。本堂の内部は、一般参拝者のための外陣と三尊を安置する内陣に分かれている。

三仏堂は9世紀に建てられて以来、日光山内で何度も移築されてきた。また、火災や自然災害などで倒壊した後も、何度も修理や再建が行われてきた。現在の建物は、前のお堂が火災で失われた後、1650年に建てられたもので、東日本最大の木造建築物である。